

問1 日本銀行が「公開市場操作（売りオペレーション）」を行う背景として、物価の動向と市場の仕組みを説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 茨城県公立入試 類似）

1. 不況によって物価が下落しているとき、企業の資金繰りを助けるために通貨量を増やす必要があるため。
2. 好景気によって物価が上がりすぎると、貨幣の価値が相対的に下がり国民生活が不安定になるため、通貨量を絞り物価を安定させる必要があるから。
3. 政府の税収が不足しているとき、日本銀行が国債を売ることによって得た利益を直接、公共事業の資金に充てて景気を下支えするため。
4. 円安が進みすぎた際に、日本銀行が国債を売ることによって強制的に円高へと誘導し、輸出企業の利益を拡大させるため。

問2 日本銀行が行う金融政策のうち、不景気への対策として実施される「買いオペレーション」の仕組みについて説明した文として正しいものはどれですか。（2023年 山梨公立入試 類似）

1. 日本銀行が国債を買い、代金を支払うことで、市場の通貨供給量を増やして景気の回復を図る。
2. 日本銀行が国債を売り、代金を回収することで、市場の通貨供給量を減らして景気の過熱を抑える。
3. 日本銀行が企業から直接製品を買い取ることで、企業の利益を直接的に増やして景気の回復を図る。
4. 日本銀行が金利を強制的に引き上げることで、国民が銀行へ預金する額を増やして景気の安定を図る。

問3 景気が後退している局面において、日本銀行が世の中に出回る通貨量を調整するために行う「公開市場操作（買いオペレーション）」の手順と効果を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2020年 和歌山公立入試 類似）

1. 日本銀行が銀行などの民間金融機関から国債を買い取り、その代金を支払うことで、民間金融機関の資金量を増やし、経済を活性化させる。
2. 日本銀行が保有する国債を民間金融機関に売り、その代金を受け取ることで、民間金融機関の資金量を減らし、過熱した景気を抑える。
3. 日本銀行が政府から直接国債を買い取り、政府が公共事業を増やすことで、世の中の通貨量を増やし、雇用を創出する。
4. 日本銀行が民間金融機関の預金準備率を引き下げることで、銀行が貸し出しに回せる資金を増やし、企業の投資を促進する。

問4 日本の中央銀行である日本銀行は、民間の金融機関には認められていない特別な役割を3つ持っています。そのうち、日本の紙幣である日本銀行券を独占的に発行できる唯一の銀行としての役割を何といいますか。（2025年 岐阜公立入試 類似）

1. 発券銀行
2. 銀行の銀行
3. 政府の銀行
4. 市中銀行

問5 日本銀行が、景気の停滞期（不況期）に市場を流通する通貨の量を増やして景気を刺激しようとする際、民間銀行との間で行う操作について述べたものとして正しいものはどれですか。（2017年 徳島公立入試 類似）

1. 日本銀行が民間銀行から国債などを買い取る「買いオペレーション」を行い、市場に供給される通貨量を増やす。
2. 日本銀行が民間銀行へ国債などを売却する「売りオペレーション」を行い、市場の通貨量を回収する。
3. 日本銀行が民間銀行に預けさせる準備金の割合を引き上げることで、銀行の貸し出しを制限する。
4. 日本銀行が政府に対して公共投資の拡大を働きかけ、市場の通貨量を直接的に増加させる。

問6 企業が新しい工場を建てたり、研究開発を行ったりするために必要な資金を調達する方法のうち、株式や社債を発行し、証券市場を通じて投資家から直接、事業資金を調達する仕組みを何と呼びますか。（2022年 熊本県公立入試 類似）

1. 直接金融
2. 間接金融
3. 公開市場操作
4. 預金準備率操作

問7 日本銀行を中心とした資金の流れについて説明した次の文のうち、中央銀行の仕組みとして正しいものはどれですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）

1. 日本銀行は一般の銀行との間で預金の受け入れを行うが、政府との間では資金のやり取りは行わない。
2. 日本銀行は政府の資金を取り扱う一方で、一般の企業に対しては直接、設備投資のための貸し出しを行う。
3. 日本銀行は政府の資金である国庫金を取り扱うほか、一般の銀行との間で資金の貸し出しや預金の受け入れを行う。
4. 日本銀行は家計（個人）からの預金を直接受け入れ、その資金を一般の銀行へ貸し出す役割を持つ。

問8 日本銀行は、一般の銀行とは異なる特殊な役割を担っています。日本銀行が「銀行の銀行」と呼ばれる理由として、業務の実態を正しく述べたものはどれですか。（2019年 茨城県公立入試 類似）

1. 民間金融機関との間で当座預金のやり取りを行い、金融システム全体の資金の過不足を調整しているから。
2. 全国の民間銀行の経営権を政府に代わって所有し、銀行の支店網を管理しているから。
3. 銀行の窓口で行われる振り込みや引き出しの業務を、すべて日本銀行が遠隔で代行しているから。
4. すべての国民が日本銀行に口座を持ち、民間銀行を介さずに預金ができる仕組みを提供しているから。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 好景気によって物価が上がりすぎると、貨幣の価値が相対的に下がり国民生活が不安定になるため、通貨量を絞り物価を安定させる必要があるから。	物価が持続的に上昇するインフレーションが起こると、同じ金額で買えるものが少なくなる（＝貨幣価値の下落）ため、国民生活に悪影響を及ぼします。日本銀行の重要な役割の一つは「物価の安定」であり、売りオペレーションを通じて市中の通貨量を減らすことで、過度な経済の過熱を冷やし、物価をコントロールしようとしています。
問2	答え 1 日本銀行が国債を買い、代金を支払うことで、市場の通貨供給量を増やして景気の回復を図る。	買いオペレーションは、日本銀行が公開市場操作の一環として、民間金融機関から国債などを買い入れる操作です。この対価として支払われた資金が民間銀行の資金供給源となり、結果として世の中の通貨量が増え、金利が低下することで企業の設備投資や個人の消費を促す仕組みになっています。
問3	答え 1 日本銀行が銀行などの民間金融機関から国債を買い取り、その代金を支払うことで、民間金融機関の資金量を増やし、経済を活性化させる。	景気が悪いとき、日本銀行は市場に流通するお金の量を増やして経済を刺激しようとしています。具体的には、日本銀行が民間金融機関の持つ国債を買い取ることで、対価としての現金が民間金融機関に渡ります。これにより、銀行が企業や個人に貸し出せる資金が増え、金利が下がりやすくなることで、消費や投資が促される仕組みです。
問4	答え 1 発券銀行	日本銀行は、日本で唯一の「日本銀行券（紙幣）」を発行できる権利を持つため「発券銀行」と呼ばれます。これにより、世の中に出回る通貨の量を調整し、物価や経済の安定を図る役割を担っています。他の選択肢である「銀行の銀行」は民間銀行と取引を行う役割、「政府の銀行」は国庫金の管理などを行う役割を指します。
問5	答え 1 日本銀行が民間銀行から国債などを買い取る「買いオペレーション」を行い、市場に供給される通貨量を増やす。	景気が悪いとき、中央銀行である日本銀行は、世の中に出回る通貨の量を増やして金利を下げ、企業が資金を借りやすくすることで景気を回復させようとしています。このため、日本銀行は民間銀行が持っている国債や手形などを買い取り、その代金として市場に現金を供給します。この仕組みを「買いオペレーション」と呼びます。
問6	答え 1 直接金融	資金を必要とする企業が、証券市場で株式や社債を発行し、家計などの投資家から直接資金を募る方法を直接金融といいます。これに対し、銀行などの金融機関が仲介役となり、預金者から集めた資金を企業に貸し出す仕組みは「間接金融」と呼ばれます。
問7	答え 3 日本銀行は政府の資金である国庫金を取り扱うほか、一般の銀行との間で資金の貸し出しや預金の受け入れを行う。	日本銀行の取引相手は、大きく分けて「政府」と「金融機関（一般の銀行など）」の2つに限定されています。政府に対しては「政府の銀行」として、一般の銀行に対しては「銀行の銀行」として機能します。企業や家計（個人）が直接、日本銀行に預金をしたり融資を受けたりすることはありません。
問8	答え 1 民間金融機関との間で当座預金のやり取りを行い、金融システム全体の資金の過不足を調整しているから。	日本銀行は中央銀行として、民間の銀行などが預け入れている当座預金を通じて、金融機関同士の資金の決済を仲介したり、不足している銀行へ資金を貸し出したりしています。このように「銀行にとっての銀行」として機能することで、経済全体の血液であるお金の流れを安定させています。民間銀行の経営権を所有したり、個人の預金口座を管理したりすることはありません。

問1 不況の際、日本銀行が世の中に出回る通貨の量を増やして景気の回復を図るために行う、具体的な操作の内容として適切なものはどれですか。（2019年 香川公立入試 類似）

- | | | | |
|---|-------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 民間銀行が保有する国債を買い、その代金を支払うことで市場の資金を増やす。 | 2. 民間銀行に対して国債を売り、市場にある資金を日本銀行が回収する。 | 3. 道路や橋を建設する公共事業の予算を大幅に削減し、財政の健全化を図る。 | 4. 所得税や消費税などの税率を引き上げることで、政府の歳入を確保する。 |
|---|-------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|

問2 不況（景気後退）の際、日本銀行が景気を刺激するために行う金融政策として、適切な説明はどれですか。（2021年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 1. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い、市場に出回る通貨の量を増やす。 | 2. 日本銀行が一般の銀行に国債を売り、市場に出回る通貨の量を減らす。 | 3. 日本銀行が所得税の増税を決定し、家計の消費を抑制させる。 | 4. 日本銀行が公共事業の支出を増やし、雇用の機会を創出する。 |
|--------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|

問3 企業や商店が事業資金を確保する際、銀行などの金融機関が仲介役となり、預金者から集めた資金を貸し出す仕組みを何といいますか。（2019年 群馬県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|----------------|
| 1. 間接金融 | 2. 直接金融 | 3. 株式公開 | 4. クラウドファンディング |
|---------|---------|---------|----------------|

問4 企業が事業に必要な資金を調達する仕組みのうち、銀行などの金融機関から融資を受けるのではなく、企業が株式や債券を発行し、家計などの投資家から直接資金を調達する方式を何といいますか。（2023年 福島県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 直接金融 | 2. 間接金融 | 3. 信用創造 | 4. 公開市場操作 |
|---------|---------|---------|-----------|

問5 日本銀行は2024年7月に、偽造防止を目的として20年ぶりに新しい日本銀行券（紙幣）を発行しました。紙幣には江戸時代の藩札から続く「すかし」の技術や、明治時代以降から続く肖像画の採用など、高度な技術が盛り込まれています。このような紙幣の発行や、政府の資金の管理を行う日本銀行に関する記述として、誤っているものはどれか選びなさい。（2024年 宮城県公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 国の予算案を作成し、予算をどのように使うかの計画を決定する。 | 2. 日本銀行券を発行する唯一の機関としての役割（発券銀行）を持つ。 | 3. 景気を調整するために、世の中に出回る通貨の量を調節する政策を行う。 | 4. 政府が納めた税金の管理や、政府からの支払い事務を行う（政府の銀行）。 |
|-----------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|

問6 日本銀行が「政府の銀行」として活動する一番の理由はどれですか。（2018年 兵庫県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| 1. 国のお金を安全に管理し、支払いをスムーズにおこなうため | 2. 日本銀行が利益をたくさん増やして、国をゆたかにするため | 3. 一般の銀行よりも、もっと高い利子でお金を貸すため | 4. 全国の人たちから直接税金を集めて、集計するため |
|--------------------------------|--------------------------------|-----------------------------|----------------------------|

問7 中央銀行が国債などの売買を通じて市場の通貨量を調節する「公開市場操作」において、インフレーション（物価の継続的な上昇）の懸念があるなど景気が過熱している際にとられる一連の動きとその影響として、適切なものはどれですか。（2017年 徳島公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 日本銀行が保有する国債を民間銀行に売ることで通貨を回収し、金利を上昇させることで、企業の投資を抑制する。 | 2. 日本銀行が民間銀行の保有する国債を買い入れることで通貨を放出し、金利を低下させることで、消費を活性化させる。 | 3. 日本銀行が民間銀行に対して直接的な増税を指示し、通貨の流通量を強制的に減らすことで、物価の安定を図る。 | 4. 日本銀行が民間銀行に対して国債の発行を停止させ、通貨の新規発行を抑えることで、市場を沈静化させる。 |
|---|---|--|--|

問8 日本の金融システムにおける資金の流れのうち、企業が株式を発行して資金を調達する「直接金融」の説明として、最も適切なものはどれか。（2021年 高知公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 銀行が家計から預金として集めた資金を、銀行自身の判断で企業に貸し出す仕組み。 | 2. 企業が発行した有価証券を、資金の出し手が直接購入することで資金を融通する仕組み。 | 3. 日本銀行が景気調整のために、市中銀行に資金を供給したり回収したりする仕組み。 | 4. 個人が自動車の購入などの消費を目的として、金融機関から一時的に資金を借りる仕組み。 |
|---|---|---|--|

問9 企業が事業を拡大するために必要な資金を調達する方法のうち、銀行などの金融機関を介さずに、株式や社債を発行して投資家から直接資金を集める仕組みを何といいますか。（2020年 岡山公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 直接金融 | 2. 間接金融 | 3. 自己資本 | 4. 利子補給 |
|---------|---------|---------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 民間銀行が保有する国債を買い、その代金を支払うことで市場の資金を増やす。	日本銀行が通貨量を調整して景気を安定させる取り組みを金融政策と呼びます。不況時には、日本銀行が民間銀行から国債などを買い取る「買いオペレーション」を行い、銀行が貸し出しに回せる資金を増やすことで、企業などの経済活動を活発にします。逆に、景気が過熱しているときには国債を売って資金を吸収する操作が行われます。
問2	答え 1 日本銀行が一般の銀行から国債を買い、市場に出回る通貨の量を増やす。	景気が悪いとき、日本銀行は一般の銀行が持っている国債を買い取る「買いオペレーション」を行います。これにより、代金として支払われた現金が一般の銀行に供給され、世の中に出回る通貨の量が増加します。その結果、企業や個人が資金を借りやすくなり、経済活動が活発化して景気の回復が図られます。なお、増税や公共事業は政府が行う財政政策であり、日本銀行が行う金融政策とは区別する必要があります。
問3	答え 1 間接金融	資金の出し手である預金者と、借り手である企業などの間に銀行が入り、融資という形で資金を仲介する仕組みです。預金者は銀行に資金を預け、銀行がその資金を運用して企業に貸し出すため、貸し手と借り手が直接取引をしないことが特徴です。
問4	答え 1 直接金融	企業が証券市場を通じて投資家から直接資金を集める仕組みを直接金融と呼びます。これに対し、銀行が預金者から集めたお金を企業に貸し出す仕組みは間接金融と呼ばれ、日本の金融システムにおいて重要な役割を果たしてきました。直接金融では、資金を出す側が投資先を自ら選ぶという特徴があります。
問5	答え 1 国の予算案を作成し、予算をどのように使うかの計画を決定する。	日本銀行は政府の資金の出し入れや管理を行いますが、国の予算案そのものを作成するのは政府（内閣）の仕事であり、その予算を審議・議決するのは国会の役割です。日本銀行はあくまで中央銀行としての立場から、通貨価値の安定や経済の健全な発展のために機能する機関であり、行政機関である内閣とは役割が明確に区別されています。
問6	答え 1 国のお金を安全に管理し、支払いをスムーズにおこなうため	国が使う膨大なお金を個人の銀行で管理するのは大変でリスクもあります。日本銀行が政府の資金を管理することで、公共事業などの支払いを正確かつ確実におこない、国全体の経済活動が滞りなく進むように支えています。
問7	答え 1 日本銀行が保有する国債を民間銀行に売ることによって通貨を回収し、金利を上昇させることで、企業の投資を抑制する。	景気が過熱し物価が上がりすぎているときは、日本銀行は市場の通貨量を減らすことで金利を上げ、経済活動を落ち着かせようとします。このとき、日本銀行は保有している国債を民間銀行に売り、その代金を回収する「売りオペレーション」を行います。これにより銀行が貸し出せる資金が減り、金利が上昇するため、企業の設備投資などが抑制される効果があります。
問8	答え 2 企業が発行した有価証券を、資金の出し手が直接購入することで資金を融通する仕組み。	直接金融は、借り手である企業が発行した株式や社債を、貸し手（投資家）が市場を通じて直接買い取ることで成立します。銀行が預金者と企業の間にとってリスクを負う間接金融に対し、直接金融では貸し手が直接的なリスクを負う代わりに、配当などのリターンを得る仕組みとなっています。
問9	答え 1 直接金融	企業が証券市場などを通じ、家計や投資家から直接資金を調達する仕組みを指します。これに対し、銀行が預金者から集めた資金を企業に貸し出す仕組みは、銀行が仲介役となるため「間接金融」と呼ばれます。

問1 日本の中央銀行である日本銀行が、一般の民間銀行に対して資金を貸し出したり、預金を受け入れたりする役割を何と呼びますか。（2017年 長崎県公立入試 類似）

1. 銀行の銀行 2. 政府の銀行 3. 発券銀行 4. 国民の銀行

問2 家計などの資金の出し手から預金としてお金を預かり、その資金を企業などの借り手に貸し出す仕組みを、銀行などの金融機関が仲立ち（媒介）することから何と呼びますか。（2026年 山梨公立入試 類似）

1. 間接金融 2. 直接金融 3. 公開市場操作 4. 財政投融资

問3 日本銀行の役割についての説明として、正しいものはどれですか。（2018年 兵庫公立入試 類似）

1. 一般の人や会社にお金を貸し出す 2. 日本銀行券という紙幣を発行する 3. 町にあるスーパーでお買い物をする 4. 外国の政府から直接税金を集める

問4 景気が過熱し、インフレーションの恐れがある場合に政府が行う財政政策として、経済を安定させるための適切な組み合わせはどれですか。（2026年 新潟公立入試 類似）

1. 公共事業を減らしたり、増税を行ったりして、社会全体の需要を抑制する 2. 公共事業を増やしたり、減税を行ったりして、社会全体の需要を刺激する 3. 公共事業を増やし、同時に増税を行うことで、財政赤字の解消を優先する 4. 公共事業を減らし、同時に減税を行うことで、企業の投資意欲を高める

問5 不景気の際、日本銀行は景気を刺激するために「買いオペレーション」という金融政策を行うことがあります。この政策の仕組みとして最も適切な説明はどれですか。（2020年 秋田県公立入試 類似）

1. 日本銀行が民間金融機関から国債などを買入れることで、市場に流通する通貨量を増やし、金利を下げ経済活動を活発にする。 2. 日本銀行が民間金融機関に国債などを売却することで、市場から通貨を回収し、金利を上げて物価の安定を図る。 3. 日本銀行が政府から直接国債を買入れることで、政府の公共事業費を増やし、雇用の創出を図る。 4. 日本銀行が民間金融機関の預金準備率を引き上げることで、銀行が貸し出せる資金を増やし、消費を促す。

問6 景気が過熱し、物価が上がり続けるインフレーションの懸念がある際、日本銀行が行う「売りオペレーション」の仕組みとして最も適切な説明を選びなさい。（2023年 大阪公立入試 類似）

1. 日本銀行が民間銀行に国債を売り、市場の資金量を減らすことで、金利を上昇させる。 2. 日本銀行が民間銀行から国債を買い、市場の資金量を増やすことで、金利を低下させる。 3. 日本銀行が民間銀行に国債を売り、市場の資金量を増やすことで、景気をさらに刺激する。 4. 日本銀行が民間銀行から国債を買い、市場の資金量を減らすことで、物価の安定を図る。

問7 「日本銀行」が景気の安定を図るために、一般の銀行との間で国債を売買することなどを通じて、世の中に流通する通貨量を調節する仕組みを何というか。（2023年 長崎公立入試 類似）

1. 金融政策 2. 財政政策 3. 社会保障制度 4. 独占禁止法

問8 企業が大規模な設備投資などを行うために、家計などの投資家から直接資金を調達する「直接金融」という仕組みがあります。この際、企業が自らの信用に基づいて発行する、出資の権利や債務を証明する証書の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 株式と債券 2. 預金と借入れ 3. 税金と補助金 4. 小切手と手形

問9 日本の中央銀行である日本銀行は、私たちの生活に関わる重要な役割を担っています。日本銀行が、一般の銀行に対して資金を貸し出したり、銀行から預金を受け入れたりする役割を指す言葉として、最も適切なものはどれか。（2019年 高知公立入試 類似）

1. 銀行の銀行 2. 政府の銀行 3. 発券銀行 4. 国民の銀行

答え合わせ・解説

問1	答え 1 銀行の銀行	日本銀行は、私たち個人や一般の企業と直接取引を行うことはありません。その代わりに、三菱UFJ銀行や地方銀行といった「一般の銀行」を相手に資金の貸し借りや預金の管理を行うため、このような名称で呼ばれます。これにより、金融機関同士の資金のやり取りを円滑にし、経済全体の安定を支えています。
問2	答え 1 間接金融	資金の出し手（家計）と借り手（企業）の間に銀行などの金融機関が入り、預金という形で集めた資金を貸し出す仕組みを間接金融といいます。貸し手と借り手が直接取引を行わないため、この名称で呼ばれます。
問3	答え 2 日本銀行券という紙幣を発行する	日本銀行は「発券銀行」とも呼ばれ、私たちが普段使っているお金（日本銀行券）を発行できる唯一の銀行です。一般の銀行とちがひ、私たち一人ひとりが直接お金を借りたり預金したりすることはできません。
問4	答え 1 公共事業を減らしたり、増税を行ったりして、社会全体の需要を抑制する	政府は景気を調整するために、支出（公共事業）と収入（税金）を操作します。景気が良すぎる（過熱している）ときは、道路建設などの公共事業を削減して政府支出を抑えるとともに、増税によって国民や企業が自由に使えるお金を減らします。これらの措置によって、社会全体の買い物の勢い（総需要）を抑え、物価の安定を図ります。
問5	答え 1 日本銀行が民間金融機関から国債などを買い入れることで、市場に流通する通貨量を増やし、金利を下げて経済活動を活発にする。	不景気のとき、日本銀行は市場の通貨（お金）の量を増やして景気を上向かせようとします。日本銀行が民間金融機関の持っている国債を買い取ることで、その代金が民間金融機関に支払われ、社会全体に出回る通貨量が増加します。その結果、資金の借り入れが容易になり、金利が低下することで企業の設備投資や個人の消費が促進されます。この一連の操作を買いオペレーションと呼びます。
問6	答え 1 日本銀行が民間銀行に国債を売り、市場の資金量を減らすことで、金利を上昇させる。	景気が過熱しているとき、日本銀行は保有している国債を民間銀行に売却し、その代金として市場から資金を回収します。これにより、世の中に出回る通貨の量（資金量）が減少するため、資金の希少価値が上がり、金利が上昇します。金利が上がると、企業や個人が銀行からお金を借りにくくなるため、過剰な投資や消費が抑えられ、物価の上昇を食い止めることができます。
問7	答え 1 金融政策	日本銀行が通貨の供給量を調節することで、物価の安定や経済の健全な発展を目指す仕組みを金融政策と呼びます。主な手段として、市場での国債の売買（公開市場操作）があります。選択肢にある「財政政策」は、政府が予算や税制を通じて景気を調整するものであり、実施主体が日本銀行である場合には「金融政策」が適切な用語となります。
問8	答え 1 株式と債券	企業が銀行などの金融機関を仲介役とせず、市場を通じて投資家から直接資金を集める仕組みを直接金融と呼びます。この方法で用いられる代表的な証書が、出資者に対して発行する「株式」や、借入金に対して発行する「債券（社債）」です。これに対して、銀行が預金者から集めたお金を企業に貸し出す仕組みは「間接金融」と呼ばれ、明確に区別されます。
問9	答え 1 銀行の銀行	日本銀行は一般の個人や企業と直接取引をするのではなく、民間銀行を相手に預金や貸し出しの業務を行います。この機能は、一般の銀行にとっての銀行であるという意味で「銀行の銀行」と呼ばれます。その他の役割として、紙幣を発行する「発券銀行」や、国の税金を管理する「政府の銀行」としての側面も持っています。

問1 銀行の利益の仕組みを説明した次の文のうち、空欄にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを選びなさい。「銀行は、家計などから預かった（ X ）の利率よりも、企業などへの（ Y ）の利率を（ Z ）設定することで、その差額を利益としている。」（2016年 千葉県公立入試 類似）

1. X：預金 Y：貸し出し Z：高く
2. X：預金 Y：貸し出し Z：低く
3. X：貸し出し Y：預金 Z：高く
4. X：貸し出し Y：預金 Z：低く

問2 日本銀行が買いオペレーションを実施した際、市場における資金の流れや経済への影響として正しいものはどれですか。（2024年 神奈川県公立入試 類似）

1. 日本銀行から民間金融機関に資金が供給されることで、市場の通貨量が増え、金利が下がる。
2. 日本銀行が民間金融機関に国債を売却することで、市場の通貨を回収し、物価の上昇を抑える。
3. 政府が所得税や消費税を増税することで、市場の通貨量を減らし、景気の過熱を抑制する。
4. 日本銀行が公共料金の価格を直接操作することで、消費者の購買力を高め、デフレを解消する。

問3 日本銀行の役割に関する記述のうち、「銀行の銀行」としての業務に該当するものはどれですか。他の役割である「政府の銀行」や「発券銀行」と混同しないように選びなさい。（2020年 香川公立入試 類似）

1. 国民から納められた税金を、国の公金として預かったり管理したりする。
2. 日本で唯一、お札（日本銀行券）を発行し、世の中に流通させる。
3. 民間の金融機関の間で発生した資金の貸し借りを、それぞれの預金口座を通じて決済する。
4. 道路や橋を作るための国の予算が、計画通りに支払われるよう手続きを行う。

問4 景気が過熱し、物価の上昇が激しい好況期において、政府が景気安定のために実施する財政政策の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2024年 福岡県公立入試 類似）

1. 公共投資を減らし、増税を行うことで社会全体の需要を抑制する
2. 公共投資を増やし、減税を行うことで社会全体の需要を拡大する
3. 日本銀行が国債を買い入れることで、市場の資金量を増やす
4. 日本銀行が国債を売却することで、市場の資金量を減らす

問5 景気が過熱して物価が上がりすぎている局面において、日本銀行が景気を安定させるために行う「公開市場操作」の説明として適切なものはどれですか。（2018年 大分県公立入試 類似）

1. 日本銀行が一般の銀行に国債を売り、市場の通貨量を減少させる
2. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い、市場の通貨量を増加させる
3. 日本銀行が一般の銀行に国債を売り、市場の通貨量を増加させる
4. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い、市場の通貨量を減少させる

問6 景気対策として日本銀行が実施する金融政策において、不景気時に行われる「買いオペレーション」の仕組みとその影響を説明した文章として、最も適切なものを選びなさい。（2019年 鳥取公立入試 類似）

1. 日本銀行が銀行から国債を買い入れることで、銀行が保有する資金を増やし、企業や個人への貸し出しを促進させる。
2. 日本銀行が銀行へ国債を売却することで、市場にある資金を日本銀行が回収し、物価の急激な上昇を抑える。
3. 日本銀行が銀行から国債を買い入れることで、金利を意図的に上昇させ、過剰な消費や投資を抑え込もうとする。
4. 日本銀行が銀行へ国債を売却することで、銀行の資金を減少させ、円の価値を下げ輸出産業を有利にする。

問7 資金の供給手である家計と、資金の需要手である企業の間で銀行が果たす役割に関連して、銀行が安定的な経営を行うための利率の仕組みについて述べた文として、背景や理由を含めて説明したものを選びなさい。（2023年 岐阜公立入試 類似）

1. 銀行は貸し倒れのリスクを負うため、貸出先から受け取る利率を預金者に支払う利率よりも多く受け取る必要がある。
2. 銀行の収益は株式投資の配当のみで構成されるため、預金利率と貸出利率を同額に設定して家計を支援している。
3. 中央銀行がすべての利率を決定しているため、民間銀行は利率の差額ではなく国からの補助金によって経営されている。
4. 預金者が銀行に資金を預ける際の利率を貸出利率より高くすることで、社会全体の貯蓄額を増やす仕組みがとられている。

問8 銀行の役割を示したモデルにおいて、左側に「預金を行い利率を受け取る家計」、中央に「銀行」、右側に「貸し出しを受け利率を支払う企業」が位置していると想定します。この仕組みにおいて、銀行が安定して利潤を生み出し続けるために必要な条件として、正しいものはどれですか。（2022年 大阪公立入試 類似）

1. 企業から受け取る貸し出し金利が、家計へ支払う預金金利を上回っていること。
2. 家計へ支払う預金金利が、企業から受け取る貸し出し金利を上回っていること。
3. 預金金利と貸し出し金利が常に等しく、家計と企業の間で利率の移動がないこと。
4. 銀行が仲介をせず、家計が企業に対して直接資金を貸し付けること。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 X：預金 Y：貸し出し Z：高く	銀行が持続的に運営されるためには、入ってくるお金（貸し出しによる利息収入）が出ていくお金（預金者への利息支払い）を上回る必要があります。したがって、貸し出す際の利子率を、預かる際の利子率よりも「高く」設定することが不可欠です。この関係性を逆に理解してしまうと、銀行が貸し出しを行うほど赤字になってしまうため、経済の仕組みを理解する上で重要なポイントとなります。
問2	答え 1 日本銀行から民間金融機関に資金が供給されることで、市場の通貨量が増え、金利が下がる。	買いオペレーションによって日本銀行から民間金融機関へ資金が流れると、市場全体に出回る通貨の量が増加します。資金の供給が需要を上回る形になるため、資金を借りる際のコストである金利（利子率）が低下します。これにより、企業が設備投資のための資金を借りやすくなり、景気を上向かせる効果が期待されます。
問3	答え 3 民間の金融機関の間で発生した資金の貸し借りを、それぞれの預金口座を通じて決済する。	「政府の銀行」は国（政府）の資金（税金など）を扱う役割、「発券銀行」は紙幣を発行する役割です。「銀行の銀行」は、民間の銀行が日本銀行に持っている口座を利用して、銀行間の膨大な取引の決済を行う業務などを指します。これにより、私たちの振り込みなどの仕組みが安全に保たれています。
問4	答え 1 公共投資を減らし、増税を行って社会全体の需要を抑制する	景気が過熱しているとき、政府は社会全体の需要を抑える財政政策をとります。具体的には、道路建設などの公共投資を減らすことや、増税によって人々の使えるお金を減らすことで、経済活動を抑制し物価を安定させます。不況時とは逆の対策を行うことで、景気の変動をなだらかにする役割を担っています。
問5	答え 1 日本銀行が一般の銀行に国債を売り、市場の通貨量を減少させる	景気が過熱しているときは、物価の上昇（インフレーション）を抑える必要があります。日本銀行が保有する国債を一般の銀行に売却すると、その代金として銀行から資金が日本銀行へ回収されます。これにより、市場に出回る通貨の量が減り、消費や投資が抑制されて景気が安定へと向かいます。
問6	答え 1 日本銀行が銀行から国債を買入れることで、銀行が保有する資金を増やし、企業や個人への貸し出しを促進させる。	日本銀行が行う買いオペレーションの主な目的は、市場の通貨量を増やして景気を上向かせることにあります。日本銀行が国債を買入れると、その対価として支払われた現金が民間銀行の資金源となります。銀行の資金に余裕ができると、企業などへの貸出が活発になり、経済活動が活性化します。逆に、国債を売却する売りオペレーションは、景気が過熱している際に通貨量を減らすために行われます。
問7	答え 1 銀行は貸し倒れのリスクを負うため、貸出先から受け取る利子を預金者に支払う利子よりも多く受け取る必要がある。	銀行は預金者に対して預金を払い戻す義務を負う一方で、企業への貸し出しには返済が滞るリスク（貸し倒れリスク）が伴います。そのため、貸出先から受け取る利子を高く設定することで、リスクへの備えや業務運営に必要なコストをまかっています。このように、預金利子と貸出利子の差額を収益の柱とする仕組みによって、銀行の金融仲介機能が維持されています。
問8	答え 1 企業から受け取る貸し出し金利が、家計へ支払う預金金利を上回っていること。	銀行は「間接金融」の代表的な機関であり、預金者から集めた資金を自らの責任で貸し出します。銀行の経営を成り立たせるためには、貸し出し先から回収する利子の総額が、預金者に払い戻す利子の総額よりも多くなければなりません。したがって、貸し出し金利を預金金利よりも高く設定することが、銀行のビジネスモデルの根幹となります。

問1 日本銀行の役割の一つである「政府の銀行」としての業務の説明として、最も適切なものはどれですか。（2020年 山形県公立入試 類似）

1. 国が発行する国債の事務を行ったり、税金の受け入れを管理したりする。
2. 国内で流通する紙幣を独占的に発行し、通貨の価値を安定させる。
3. 民間の金融機関に対して、資金が不足した際に貸し出しを行う。
4. 国民から預金を集め、その資金を公共事業に直接投資する。

問2 好況期において、日本銀行が「売りオペレーション」を行う主な目的と、その仕組みを説明した文として正しいものを次から選びなさい。（2020年 島根公立入試 類似）

1. 市場の通貨量を減らすことで金利を上昇させ、景気の行き過ぎを抑えるため。
2. 市場の通貨量を増やすことで金利を低下させ、企業の投資を促進するため。
3. 日本銀行の保有する国債を減らすことで、政府の財政赤字を解消するため。
4. 通貨の流通を活発にすることで失業率をさらに下げ、国民所得を増やすため。

問3 私たちは、必要なものをすべて自分で作る「自給自足」の生活ではなく、他者が生産した物やサービスと自分の持つものを取り取りすることで生活しています。このような交換を円滑に行うために貨幣が担っている、商品の価値を共通の物差しとして数値化する役割を何といいますか。（2023年 兵庫公立入試 類似）

1. 価値の尺度
2. 支払いの手段
3. 価値の保存
4. 流通の強制

問4 かつて行われていた「物物交換」と比較したとき、社会に貨幣が普及したことで得られた経済的な利点として、適切な説明はどれですか。（2023年 富山公立入試 類似）

1. 自分の欲しいものと相手の欲しいものが一致しなくても、貨幣を介することで取引が可能になった。
2. 貨幣自体が食べ物や衣服のように生活に直接役立つため、交換しなくても豊かになれるようになった。
3. すべての商品の価値が貨幣の素材（金属など）の重さだけで決まるようになり、価格変動がなくなった。
4. 貨幣があれば労働をする必要がなくなり、社会全体の生産性が飛躍的に向上した。

問5 不景気の際、日本銀行が景気を刺激するために、一般の銀行が持っている国債などを買い取る「買いオペレーション」を行います。この政策によって期待される、市場への直接的な効果として最も適切なものはどれですか。（2023年 山梨公立入試 類似）

1. 日本銀行から代金が支払われることで、一般の銀行が持つ資金量が増え、企業などへの貸し出しが促進される。
2. 日本銀行が国債を売却することで、市場を流通する通貨の量を減らし、物価の上昇を抑える。
3. 政府が国民から集める税金の額を増やすことで、公共事業を拡大するための財源を確保する。
4. 一般の銀行が日本銀行に預ける準備金の割合を引き上げることで、銀行の経営を安定させる。

問6 家計が銀行に資金を預ける際の利子と、銀行が企業へ資金を貸し付ける際の利子の関係について、銀行が経営を成り立たせるための意図として正しい説明はどれですか。（2018年 徳島公立入試 類似）

1. 貸し付けの利子を高くすることで、企業の過度な借入れを抑制し、景気の過熱を防ぐため。
2. 預金の利子を低く抑えることで、家計の貯蓄を減らし、消費活動を活性化させるため。
3. 預金者に支払う利子と貸し付けで受け取る利子の差を利益とし、人件費や店舗の維持費などの経費をまかなうため。
4. 日本銀行の指示により、すべての銀行が共通の利益率を確保し、金融システムの安定を図るため。

問7 日本銀行が、景気の安定を図るために公開市場操作などの手段を用いて、世の中の通貨量や金利を調整する政策の名称を何といいますか。（2020年 愛媛公立入試 類似）

1. 金融政策
2. 財政政策
3. 産業政策
4. 貿易政策

問8 家計から銀行などの金融機関へ預金が行われ、その資金を金融機関が企業に貸し出す「間接金融」に対し、家計が証券市場を通じて企業に直接資金を供給する「直接金融」の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2018年 徳島公立入試 類似）

1. 金融機関が仲介役となり、預金者の代わりに貸付先の審査やリスク管理を行う。
2. 企業が株式などを発行し、金融機関を介さずに投資家から資金を直接募る。
3. 日本銀行が通貨供給量を調整することで、市場全体の金利に影響を与える。
4. 政府が公共事業を行うために、国債を発行して家計から広く資金を集める。

問9 資金の貸し借りが行われる際、借りた側が元金（もとの金額）の使用に対する対価として、貸した側に支払うものを何といいますか。銀行と預金者の間、あるいは銀行と企業の間でのやり取りにおいて発生する名称を答えなさい。（2019年 埼玉公立入試 類似）

1. 利子
2. 配当
3. 手数料
4. 元金

答え合わせ・解説

問1	答え 1 国が発行する国債の事務を行ったり、税金の受け入れを管理したりする。	日本銀行には3つの大きな役割がありますが、そのうち「政府の銀行」とは、国（政府）のお金を扱う業務を指します。具体的には、政府の資金である税金の管理や、政府の借金にあたる「国債」の発行・支払事務などの窓口となります。紙幣の発行は「発券銀行」、民間銀行への貸し出しは「銀行の銀行」としての役割です。
問2	答え 1 市場の通貨量を減らすことで金利を上昇させ、景気の行き過ぎを抑えるため。	好況時に日本銀行が国債を売ると、民間金融機関が手持ちの資金を支払いに充てるため、市場の通貨量が少なくなります。お金の供給が減ると資金調達が難しくなり、金利（利子率）が上昇します。これにより、企業や個人の借入れが抑制され、消費や投資の勢いが落ち着くことで景気の過熱が抑えられます。
問3	答え 1 価値の尺度	貨幣には主に、交換を仲立ちする「交換の媒介」、モノの価値を測る物差しとなる「価値の尺度」、富を蓄える「価値の保存」といった役割があります。自給自足ではない社会において、肉と野菜のように性質が異なる商品を円滑に交換するためには、それらを「価格」という共通の単位で比較できるようにすることが不可欠です。
問4	答え 1 自分の欲しいものと相手の欲しいものが一致しなくても、貨幣を介することで取引が可能になった。	物物交換では「自分が持っているもの」と「相手が欲しがっているもの」が完全に一致しなければ取引が成立しませんでした。しかし、貨幣が交換手段として機能することで、いったん商品を貨幣に換え、その貨幣を用いて別の場所や時間で自分が必要なものを手に入れることができるようになりました。このように、貨幣は交換の不一致を解消し、取引を円滑にする背景を持っています。
問5	答え 1 日本銀行から代金が支払われることで、一般の銀行が持つ資金量が増え、企業などへの貸し出しが促進される。	景気が後退している局面では、日本銀行が市場の国債などを買い取ることで、その代金として大量の資金が一般の銀行に流れ込みます。これにより、世の中に出回る通貨供給量（マネタリーベース）が増加し、銀行が企業や家計に対して低い金利で積極的に貸し出しを行えるようになるため、経済活動の活性化が図られます。
問6	答え 3 預金者に支払う利子と貸し付けで受け取る利子の差を利益とし、人件費や店舗の維持費などの経費をまかなうため。	銀行も一つの企業として営利を目的としており、従業員の給与やシステム管理、店舗運営のための費用が必要です。そのため、預金者に対しては低い利子を支払い、一方で資金を貸し付ける側からは高い利子を受け取るという仕組みによって、運営に必要な利益を確保しています。もし貸し付けの利子が預金の利子を下回れば、銀行は逆ざやの状態となり、経営を継続することが困難になります。
問7	答え 1 金融政策	中央銀行である日本銀行が、景気や物価の安定を目的として、国債の売買などを通じて世の中の通貨量をコントロールすることを金融政策と呼びます。主な手法は公開市場操作です。政府が行う増減税や公共投資などの経済対策は財政政策と呼ばれ、これらは「景気の調整」という目的は共通していますが、実施する主体と手段が異なります。
問8	答え 2 企業が株式などを発行し、金融機関を介さずに投資家から資金を直接募る。	直接金融は、資金の余っている家計などが、資金を必要としている企業に対して、金融機関を通さずに資金を供給する点に特徴があります。この方式では、投資に伴うリスクは投資家（家計など）が負うこととなりますが、企業にとっては銀行の意向に左右されず、広く市場から資金を集められるメリットがあります。
問9	答え 1 利子	資金の貸借において、元金に対して支払われる対価を利子（または利息）と呼びます。銀行にお金を預けることは、銀行にお金を貸している状態であるため、預金者は銀行から利子を受け取ります。反対に、企業が銀行から設備資金などを借りる場合は、企業が銀行に対して利子を支払います。これに対し、株式会社が利益の一部を株主に還元するものは「配当」と呼ばれます。